



# 平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年8月3日

上場会社名 **株式会社オリエンタルランド**

(コード番号：4661 東証第一部)

(URL <http://www.olc.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 福島 祥郎  
 問合せ先責任者 役職名 経理部長 氏名 横田 明宜  
 役職名 広報部長 氏名 安岡 譲治

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

## 2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	73,375	5.4	4,277	85.8	3,297	129.2	1,598	202.6
18年3月期第1四半期	69,647	△1.0	2,301	△28.9	1,438	△59.3	528	△63.5
(参考) 18年3月期	332,885		30,604		26,686		15,703	

	1株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	16.80	—
18年3月期第1四半期	5.32	—
(参考) 18年3月期	162.73	—

(注) 売上高、営業利益、経常利益、四半期（当期）純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率であります。

### [経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当社グループでは、主力事業である2つのテーマパークにおいて、それぞれの特色を生かしたスペシャルイベントなどを実施いたしました。また、2つのディズニーホテルやイクスピアリなどの各施設において積極的な営業施策を実施するなど、「テーマリゾート」としての魅力を提供いたしました。

その結果、2つのテーマパークにおいてゲスト一人当たり売上高は前年同期を若干下回ったものの、入園者数が前年同期を上回ったことなどから、売上高は73,375百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

一方、費用につきましては、売上増に伴い増加したものの、原価率の改善やエンターテイメント・ショー制作費の低減などにより抑制できたことから、営業利益は4,277百万円（同85.8%増）となりました。

以上の結果、経常利益は3,297百万円（同129.2%増）となり、四半期純利益は1,598百万円（同202.6%増）となりました。

#### (テーマパーク事業)

東京ディズニーランドでは、4月からディズニー映画『リロ&スティッチ』のスティッチとディズニーの仲間達が繰り広げるスペシャルイベント「リロ&スティッチのフリフリ大騒動 ～Find Stitch!～」を開催いたしました。また、東京ディズニーシーでは、2005年7月に導入した新アトラクション「レイジングスピリッツ」が引き続き好評を博したことなどにより、入園者数は前年同期を上回りました。

なお、テーマパークのゲスト一人当たり売上高については、東京ディズニーシーにおいて、スペシャルイベントの開催時期を東京ディズニーシー5周年に合わせたため、スペシャルイベント関連商品、飲食メニューの売上が減少したことから、前年同期を若干下回りました。

東京ディズニーシー・ホテルミラコスタでは、バルコニーに出て東京ディズニーシーの眺望をお楽しみいただけるタイプの客室「バルコニールーム」を新設いたしました。また、東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ独自の魅力を訴求したレストランにおけるイベントや、東京ディズニーシーの特別公演「ポルト・パラディーゾ・ウォーターカーニバル“エテルノ”」と連動したスペシャルメニューの提供などを実施した結果、客室稼働率は前年同期を上回りました。

以上の結果、テーマパーク事業の売上高は61,500百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

#### (複合型商業施設事業)

イクスピアリでは、2005年9月に営業権を取得し、運営を開始した「シネマイクスピアリ」が期間を通じて業績に寄与いたしました。また、ゴールデンウィークには東京ディズニーランドのスペシャルイベントに合わせて、ハワイをテーマにしたイベントを開催いたしました。

ディズニーアンバサダーホテルでは、宿泊ゲストの限定プログラムなどの実施や、レストランにおいて東京ディズニーランドのスペシャルイベントと連動したスペシャルメニューの提供を行いました。なお、全客室のリニューアル工事を実施したことから、客室稼働率は前年をやや下回りました。

以上の結果、複合型商業施設事業の売上高は5,079百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

#### (リテイル事業)

ディズニーストアでは、4月に「ディズニーストア錦糸町オリナス店」をオープンしたほか、各店において、ディズニーキャラクターのTシャツを50種類のデザインで展開したシリーズ「JUST 50T's」など積極的に営業施策を実施いたしました。

しかしながら、前期から続く来店客数の減少傾向を改善するには至らず、リテイル事業の売上高は4,027百万円（前年同期比13.7%減）となりました。

#### (その他の事業)

ホテル事業では、パーム&ファウンテンテラスホテルにおいて、さらなる認知拡大に努め、より多くのゲストにご利用いただけるようきめ細やかなマーケティング活動を実施したほか、団体旅行の取込みなどのセールス活動の強化を積極的に実施した結果、客室稼働率は前年同期を上回りました。

また、モノレール事業では、ディズニーリゾートラインにおいて、東京ディズニーリゾートを訪れた多くのゲストに引き続きご利用いただきました。

以上の結果、その他の事業の売上高は2,766百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

#### (2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	665,548	372,410	55.9	3,913.92
18年3月期第1四半期	632,647	357,966	56.6	3,763.29
(参考) 18年3月期	718,865	375,832	52.3	3,950.49

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

(資産の部)

当第1四半期末の資産の部合計は、665,548百万円（前期末比7.4%減）となりました。

流動資産は、6月に第2回無担保社債（30,000百万円）を償還したことに伴う現金及び預金、運用資産の減少などにより89,672百万円（同33.6%減）となりました。

また、固定資産は、設備投資を行ったものの、東京ディズニーリゾート各施設の減価償却が進んだことなどにより575,858百万円（同1.4%減）となりました。

(負債の部)

当第1四半期末の負債の部合計は、293,137百万円（前期末比14.5%減）となりました。

流動負債は、第2回無担保社債を償還したことなどにより、49,419百万円（同49.0%減）となりました。

また、固定負債は、保有有価証券の時価下落などによって繰延税金負債が減少したことなどにより、243,717百万円（同1.0%減）となりました。

(純資産の部)

当第1四半期末の純資産の部合計は、保有有価証券の時価下落などにより減少し、372,410百万円（前期末比0.9%減）となりました。また、自己資本比率は55.9%（対前期末3.6ポイント増）となりました。

[参考] 平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
中間期	160,740	9,520	7,700	4,390
通期	347,140	30,930	26,970	15,790

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 165円37銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当第1四半期の経常利益・当期純利益の通期予想に対する進捗率は、それぞれ12.2%・10.1%となっておりますが、これは主にテーマパークの事業特性のひとつである季節変動要素（夏休みやクリスマスを含む、第2・第3四半期の売上高・利益の年間に占めるウェイトが大きいこと）に起因するものです。

当第1四半期の業績は、テーマパーク事業において計画に対し若干上回りましたが、第2四半期以降への費用の時期ずれなどもあり、通期の業績に与える影響は軽微であると考えられることから、中間期及び通期の業績見込につきましては、平成18年5月9日に発表いたしました数値と現時点では変更ありません。

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 四 半 期 連 結 会 計 期 間 末 (平成18年6月30日現在)		前 四 半 期 連 結 会 計 期 間 末 (平成17年6月30日現在)		前 年 同 期 比 較 ( △ 印 減 )		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成18年3月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	増 減	前 期 比	金 額	構 成 比
		%		%		%		%
(資産の部)								
I. 流動資産								
1. 現金及び預金	23,566		38,522		△ 14,956		47,833	
2. 受取手形及び売掛金	8,786		8,375		411		12,356	
3. 有価証券	27,481		1,599		25,881		40,788	
4. たな卸資産	9,589		8,906		682		9,036	
5. その他	20,249		13,015		7,234		25,046	
6. 貸倒引当金	△ 0		△ 0		△ 0		△ 0	
流動資産合計	89,672	13.5	70,419	11.1	19,253	27.3	135,061	18.8
II. 固定資産								
(1) 有形固定資産								
1. 本勘定	491,960		500,119		△ 8,159		500,063	
2. 建設仮勘定	23,700		14,083		9,616		18,872	
有形固定資産合計	515,660	77.5	514,203	81.3	1,456	0.3	518,936	72.2
(2) 無形固定資産	13,119	1.9	11,626	1.8	1,493	12.8	13,172	1.8
(3) 投資その他の資産								
1. その他	47,261		36,572		10,688		51,860	
2. 貸倒引当金	△ 182		△ 184		1		△ 183	
投資その他の資産合計	47,078	7.1	36,388	5.8	10,690	29.4	51,677	7.2
固定資産合計	575,858	86.5	562,217	88.9	13,640	2.4	583,786	81.2
III. 繰延資産	17	0.0	10	0.0	7	70.6	18	0.0
資産合計	665,548	100.0	632,647	100.0	32,901	5.2	718,865	100.0
(負債の部)								
I. 流動負債								
1. 支払手形及び買掛金	9,969		9,683		286		14,715	
2. 一年以内に償還する社債	—		30,000		△ 30,000		30,000	
3. 一年以内に返済する長期借入金	—		2,000		△ 2,000		—	
4. 未払法人税等	1,719		865		853		7,084	
5. その他	37,730		37,079		651		45,033	
流動負債合計	49,419	7.4	79,628	12.6	△ 30,208	△ 37.9	96,833	13.5
II. 固定負債								
1. 社債	170,000		120,000		50,000		170,000	
2. 長期借入金	50,000		50,000		—		50,000	
3. その他	23,717		24,953		△ 1,235		26,086	
固定負債合計	243,717	36.6	194,953	30.8	48,764	25.0	246,086	34.2
負債合計	293,137	44.0	274,581	43.4	18,555	6.8	342,919	47.7
(純資産の部)								
I. 株主資本								
1. 資本金	63,201	9.5	—	—	63,201	—	—	—
2. 資本剰余金	111,403	16.7	—	—	111,403	—	—	—
3. 利益剰余金	221,599	33.3	—	—	221,599	—	—	—
4. 自己株式	△ 30,263	△ 4.5	—	—	△ 30,263	—	—	—
株主資本合計	365,939	55.0	—	—	365,939	—	—	—
II. 評価・換算差額等								
1. その他有価証券評価差額金	6,684	1.0	—	—	6,684	—	—	—
2. 繰延ヘッジ損益	△ 330	△ 0.0	—	—	△ 330	—	—	—
評価・換算差額等合計	6,354	1.0	—	—	6,354	—	—	—
III. 少数株主持分	116	0.0	—	—	116	—	—	—
純資産合計	372,410	56.0	—	—	372,410	—	—	—
負債純資産合計	665,548	100.0	—	—	665,548	—	—	—
(少数株主持分)								
少数株主持分	—	—	98	0.0	△ 98	—	113	0.0
(資本の部)								
I. 資本金	—	—	63,201	10.0	△ 63,201	—	63,201	8.8
II. 資本剰余金	—	—	111,403	17.6	△ 111,403	—	111,403	15.5
III. 利益剰余金	—	—	209,165	33.1	△ 209,165	—	222,439	30.9
IV. その他有価証券評価差額金	—	—	4,459	0.7	△ 4,459	—	9,052	1.3
V. 自己株式	—	—	△ 30,262	△ 4.8	30,262	—	△ 30,263	△ 4.2
資本合計	—	—	357,966	56.6	△ 357,966	—	375,832	52.3
負債、少数株主持分及び資本合計	—	—	632,647	100.0	△ 632,647	—	718,865	100.0

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	当四半期連結会計期間 〔自平成18年4月1日 至平成18年6月30日〕		前四半期連結会計期間 〔自平成17年4月1日 至平成17年6月30日〕		前 年 同 期 比 較 ( △ 印 減 )		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 〔自平成17年4月1日 至平成18年3月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	増 減	前期比	金 額	百分比
		%		%		%		%
I. 売 上 高	73,375	100.0	69,647	100.0	3,727	5.4	332,885	100.0
II. 売 上 原 価	61,442	83.7	59,972	86.1	1,470	2.5	269,680	81.0
売 上 総 利 益	11,932	16.3	9,675	13.9	2,257	23.3	63,204	19.0
III. 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	7,655	10.5	7,373	10.6	282	3.8	32,600	9.8
営 業 利 益	4,277	5.8	2,301	3.3	1,975	85.8	30,604	9.2
IV. 営 業 外 収 益	519	0.7	416	0.6	102	24.5	1,341	0.4
V. 営 業 外 費 用	1,498	2.0	1,280	1.8	218	17.1	5,259	1.6
経 常 利 益	3,297	4.5	1,438	2.1	1,859	129.2	26,686	8.0
VI. 特 別 利 益	—	—	—	—	—	—	—	—
VII. 特 別 損 失	—	—	—	—	—	—	238	0.1
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,297	4.5	1,438	2.1	1,859	129.2	26,447	7.9
法人税、住民税及び事業税	1,871	2.5	1,016	1.4	854	84.1	10,822	3.2
法人税等調整額	△ 174	△ 0.2	△ 97	△ 0.1	△ 76	—	△ 85	△ 0.0
少数株主利益(△は損失)	2	0.0	△ 8	△ 0.0	11	—	6	0.0
四半期(当期)純利益	1,598	2.2	528	0.8	1,069	202.6	15,703	4.7